

# 適性検査Ⅰ

## 注 意

- 1 問題は2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は四十五分で、終わりは午前九時四十五分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 受検番号を解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

東京都立桜修館中等教育学校

次の**文章**を読んで、あとの**問題**に答えなさい。

**文章**

よき細工は、少し鈍にぶき刀を使つかふといふ。妙みよ観かんが刀は、いたく立たず。

(佐竹昭広 久保田淳 「方丈記 徒然草」 新日本古典文学大系による)

**問題**

右の**文章**は日本の古い書物の中的一部分で、この文章は「名工すぐ（優れた工芸技術をもつ人）は少し切れ味の悪い小刀こがたなを使うという。奈良時代の名工の妙観の小刀はたいして切れない。」という意味です。

あなたはこの書物の著者ちよしゃは、この文章を通して、どのようなことを言いたかったのだと考えますか。また、あなたは「著者の言いたかったこと」について、どのように考えますか。

第一段落だんらくには、著者がどのようなことを言いたかったのかについて、あなたが考えたことを百字程度で分かりやすく書きましよう。

次に、段落をかえて、その「著者の言いたかったこと」について、あなたがどのように考えるのかを、いくつかの段落に分けて、分かりやすく書きましよう。

なお、全体の字数は五百字以上、六百字以内とします。

